

方丈記（ほうじょうき）

鴨長明（かものおうめい）

行（ゆ）く川（かわ）の流（なが）れは絶（た）えずして、しかももとの水（みず）にあらず。よどみに浮（う）ぶうたかたは、かつ消（き）えかつ結（むす）びて、久（ひさ）しく止（とど）まる事（こと）なし。世（よ）の中（なか）にある人（ひと）と住家（すみか）と、またかくの如（ごと）し。

徒然草（つれづれぐさ）

吉田兼好（よしだけんこう）

つれづれなるまゝに、日（ひ）ぐらし硯（すずり）に向（む）かひて、心（こころ）に移（うつ）り行（ゆ）くよしなしごとを、そこはかとなく書（か）きつくれば、怪（あや）しうこそ物狂（ものくる）ほしけれ。